

サステナビリティの取り組み

Sustainability Initiatives

2026年9月1日



ESG
• ESG

株式会社森ビルホスピタリティコーポレーション

トップメッセージ

心を通わせる日常が地球の豊かな循環を創り出す

森ビルグループは、「都市を創り、都市を育む」という理念のもと、持続可能な都市の実現に取り組んでいます。その中で私たちの使命は、多様なホスピタリティ事業を通じて、都市を訪れる人、暮らす人、働く人の一人ひとりに寄り添い、日々の営みを豊かに彩ることです。

ホスピタリティの根幹にあるのは「人」であり、相手を想う心やつながりから生まれる温かさや感動こそが、私たちの価値の源泉です。だからこそ、持続可能な社会の実現に向けては、環境への配慮はもちろん、社員が誇りとやりがいを持ち、心身ともに健やかに活躍できる環境づくりを何よりも大切にしています。

これまでも私たちは、食品ロスの削減や環境配慮型の食材・資材の導入、客室リネンの交換頻度の見直しなど、施設運営における環境負荷の低減に努めると同時に、地域の清掃活動や災害時の支援体制の整備など、地域社会との絆を大切に育んできました。さらに、サプライヤーの皆様とともに持続可能な調達を推進し、あらゆる場面で責任ある事業活動を進めています。

これからのホスピタリティは、環境負荷を低減しながら上質な体験を提供すること、地域と共生しながら都市の魅力を高めること、環境や社会、そして社員のウェルビーイングを支え、次の世代へ価値をつないでいくことが大切になります。私たちは、サステナビリティを特別な活動ではなく、日々のサービスや行動の中に息づくものとして実践してまいります。

「世界で一番のホスピタリティ企業を目指す」という経営理念のもと、私たちだからこそお届けできる「唯一無二」の価値を追求し続けます。人を想うことから生まれるホスピタリティを、未来へ。私たちは、一人ひとりの時間をより豊かにし、地域、社会、そして地球の未来に貢献する企業として、これからも挑戦を続けてまいります。



代表取締役 社長執行役員
芋原 誠（おはら まこと）

経営理念

世界で一番のホスピタリティ企業を目指す

We aim to be ONE and ONLY enterprise in the hospitality field



we aim to be **ONE AND ONLY** enterprise in the hospitality field

当社が目指すのは、どこにも負けない企業ではなく、“唯一無二”の企業。
私たちだからこそ提供できるサービスを極め、お客様に喜びと感動を与え続けることで、会社、そして社員の皆の成長と幸せに繋がっていきたい。そのような思いが込められています。



森ビルホスピタリティコーポレーションは、森ビルグループのホスピタリティ事業を担い、「人と人のつながり」を基軸とした上質なサービスと最上級の施設を提供する「総合ホスピタリティ企業」です。

当社のポートフォリオ一覧



サステナビリティ推進活動

私たちは日々の暮らしのなかで地域の方々と交流して街の価値を高め、万一の災害時などには避難・被災者の一助となるための備えに努めるほか、環境問題にも多角的に取り組んでいます。当社では、代表取締役社長を委員長とする「SDGs推進プロジェクト委員会」を設置。インターナショナルホテルチェーン（ハイアット、アマン）や森ビルグループの指針に基づき、アクションプランを立て、全社横断的な取り組みを行っています。



E

環境

環境への配慮と
安全対策

S

社会

人材と働きやすい
環境への投資

G

ガバナンス

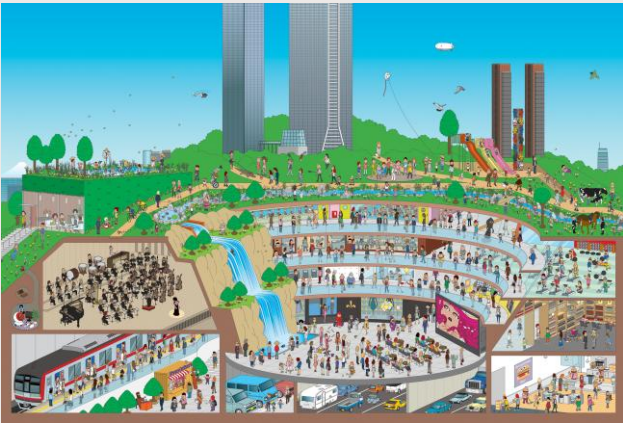
健全で透明性の高い
経営体制

私たちのESG

私たちは「都市を創り、都市を育む」というグループ理念のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。お客さまだけでなく、従業員、地域社会、そして環境に対する責任を果たすために、積極的なESGへの投資を推進しています。

環境理念

森ビルグループはヴァーティカル・ガーデン・シティ（立体緑園都市）を理想とする
「街づくりとその運営」を通じて、「都市と自然の共生」「都市の脱炭素化」「資源循環型の都市」を推進し、
未来へつながる持続可能な社会の実現に貢献します。



環境への配慮

当社が取り組んでいる環境への配慮の取り組み事例

- ・ プラスチック製のルームキーを廃止、再生可能な木材繊維タイプを採用
- ・ プラスチックストローの廃止、紙製ストローを採用
- ・ ペーパーカップのプラスチック蓋の廃止、紙製の蓋を採用
- ・ テイクアウトやインルームダイニング用に非プラスチック製の容器・包装用品を採用
- ・ 客室内のミネラルウォーターをペットボトルではなくアルミボトル缶にて提供
- ・ 会議・イベント等で配布するミネラルウォーターをペットボトルではなくアルミ缶にて提供
- ・ 客室ご利用のお客様へ客室リネンの不交換サービスの提供
- ・ サステナブルシーフード(持続可能な漁場で獲られた認証を受けた魚介類)の使用(ハイアットプロパティでは全体使用量の20%の目標を達成)
- ・ レインフォレスト・アライアンス認証コーヒーの使用(森林・生態系保護、労働環境・人権保護等の認証を受けた農園で栽培されたコーヒー)
- ・ ホテル客室で使用された石鹸を再資源化する団体へ寄付
- ・ 食品ロスを目的としたAIによる食品廃棄物管理システムを導入 など

* プラスチック資源循環促進法への取り組みとして当社では、プラスチック削減をサポートしており、特定プラスチック使用製品の使用の合理化に向けて準備を進めています。



安全・安心の取り組み①

森ビルは「逃げ出す街」から「逃げ込める街」へのコンセプトのもと、大規模再開発の特性を活かして、災害に強い安全・安心の街、開発地域のみならず周辺地域への貢献も果たす防災拠点を目指し、オープンスペースや交通インフラの整備など、都市基盤の整備をはじめ、ハード・ソフト両面にわたる様々な対策を講じている。

年に二回、森ビルでは全社員を対象に大規模な総合震災訓練を実施しており、当社社員も積極的に参加しています。



安全・安心の取り組み②



○災害時に逃げ込める街「六本木ヒルズ」内のホテルとして、港区との帰宅困難者受入れ協定の締結
(グランド ハイアット 東京)

○HACCPに基づく衛生管理の導入

(グランド ハイアット 東京は食品安全管理マネジメントの国際規格ISO22000、アンダーズ 東京は HACCP認証を取得)



○感染症対策の国際基準 GBAC STAR 認証を取得
(グランド ハイアット 東京・アンダーズ 東京)

- ・ 消防「優マーク」認証（東京都）、「適マーク」認証（国）の取得
- ・ 地域の自衛消防活動審査会への参加
- ・ 定期的な消防訓練の実施
- ・ 救命講習会の開催
- ・ 六本木ヒルズ震災訓練への参加



地域・社会貢献の取り組み

地域・社会貢献を重要な使命と位置づけ、チャリティイベントの開催やボランティア活動等積極的に取り組んでいます。

- ・一般社団法人日本ホテル協会「社会貢献に対する会長表彰」において優秀賞を受賞（2026年）
- ・六本木クリーンアップ、新虎通りエリアマネジメント清掃活動への参加
- ・チャリティーコンサート(東日本大震災被災関係基金へ寄付)の開催(アークヒルズクラブ)
- ・乳がんチャリティーイベントへの参加
- ・ホテルのロビーにギャラリーを設置し、ローカルアーティストを支援
- ・地域祭礼への協力（西麻布霞町祭礼神輿渡御休憩所の提供）
- ・地域防犯・環境美化活動への参加（六本木安全・安心プロジェクト）
- ・経済産業省が運営するヘルスケアやライフサイエンスのベンチャー企業とそれをサポートする支援団体を繋ぐ相談窓口のサポーター団体に参画



チャリティ・社会福祉活動

- 東日本大震災直後から継続的な被災地の支援活動を実施（売上の一部を寄付する宿泊プランやハンパーの販売、ホテル館内の募金箱の設置、ホテルスタッフによる被災地でのボランティア活動など）
- ホテルのレストランで使用したワインやシャンパンのコルク栓の再生化を通して障がい者の雇用創出を行う団体を支援
- クリスマスシーズンにホテル館内に募金箱を設置し、病気、戦争、災害などで心に傷を負った世界中の子どもたちへ画材や必要な物資を届ける団体へ寄付
- 国際難民支援団体と協力し、ホテルロビーでクリスマスチャリティーコンサートの実施
- 近隣の特別支援学校の生徒をホテルロビーのクリスマスエリアに招待し、サンタとの交流会を実施
- 医療従事者支援としてホテルの宿泊プランの売上の一部を寄付
- 児童養護施設・養育里親で暮らす高校生を対象に、職場体験等を継続して提供するプログラムに協力など



ダイバーシティ推進

○女性活躍推進の取り組み（2025年度）

- ・従業員女性比率（正社員） 53.8%
- ・女性管理職比率 27.6%

○育児支援の取り組み

- ・育児休業取得率 男性：58.3%
女性：100.0%

○その他、ダイバーシティ推進に向けた取り組み

- ・シニアの活躍に向けた取り組み（定年退職 年齢65歳へ引き上げ実施）
- ・障がい者雇用の拡大
- ・LGBTQへの理解促進

当社は、仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進に取り組む企業であることを示すシンボルマーク「トモニン」を2025年4月に取得いたしました。

- ・始業時間等の変更
- ・介護休暇の有給化
- ・介護休業、各種制限の対象者の拡充（入社1年未満も対象）
- ・2年経過した年次有給休暇を積立年次有給休暇として運用（家族の看護・介護等で利用可能）
- ・社外相談窓口の設置
- ・福利厚生倶楽部による介護サービスや介護用品購入の補助など費用面でのサポート



仕事と介護の両立に
取り組んでいます

健康経営推進①

優良な健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2026（ホワイト500）」に認定



健康経営推進②

事業所ごとに安全衛生委員会を設け、社員の健康や安全に関する意見交換を毎月実施し、社内の提言や啓発を行っています。また産業医による定期的な職場巡視を行い、職場の安全維持に取り組んでいます。

香りによる健康推進 協働実験の実施



エステ株式会社と香りによる従業員の働きやすさに関する実証実験「かおりによる健康経営推進協働実験」を実施。

2024年4月～9月までの期間、グランドハイアット東京をはじめとした執務室や共用部の計12カ所に業務用アロマディフューザーを設置からストレス軽減やリラックスをコンセプトに創香した香りを噴霧し、働きやすさに関する検証を実施した。

👉 実証実験後のアンケートの結果、半数以上の従業員が今回導入した香りによって「リラックスできた」「空間の快適度が向上した」と回答。また香りの取り組みを継続したいと回答した人は6割を超えた。



Upmind



株式会社森ビルホスピタリティコーポレーションの全社員向けにUpmindアプリの提供を開始

グランドハイアット東京にて、Upmindアプリの利用を通して、マインドフルネスの習慣化に取り組み、従業員の健康増進においてどのような効果があるのか検証を行った。プログラム導入前では、セルフケアに取り組む従業員の割合が42%が、導入後には90%まで割合が増加。また、9割以上の従業員が週に1回以上、非常に高い継続率で、アプリ利用を通してマインドフルネスの習慣化を図り、疲労感・ストレスが16%減少、睡眠の質は17%向上、睡眠時間も20分増加、健康増進において大きな改善の効果が確認できた。上記の健康経営でよく用いられる指標以外にも、参加者は、レジリエンスが15%、アンガーマネジメントが16%、改善したことを確認し、本プログラムが人的資本経営を支援するプログラムとしても有効であることを確認された。

職場環境の整備

世界で一番のホスピタリティ企業を実現するために、私たちだからこそ提供できるサービスを極め、お客様に喜びと感動を与え続けることで、会社、そして社員の成長と幸せに繋がっていきます。そのためには健康維持・増進を積極的に支援し、イキイキと活力のある職場環境づくりに注力しています。

またウェルビーイング向上を目標に掲げ、フィジカルヘルス・メンタルヘルス・エンゲージメントそれぞれの視点から重点的な取り組みや具体的な目標指標を設けています。



指標	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2028年度目標
定期健康診断受診率	99.5%	100%	100%	測定中	100%
精密検査受診率	13.1%	17.6%	30.1%		100%
保険指導継続率	0.0%	2.1%	81.5%		100%
ストレスチェック受検率	93.0%	99.7%	100%		100%
ストレスチェック高ストレス者率	14.1%	11.3%	11.6%		10%以下
上司・同僚の支援	52.1%	52.1%	52.1%		53%以上
喫煙者率（40歳以上の従業員対象）	26.3%	25.0%	24.3%		20%以下
食生活改善者率（週3日以上朝食欠食の従業員対象）	37.9%	38.0%	36.5%		40%以上
睡眠充足者率	57.7%	55.9%	57.6%		60%以上
運動習慣者比率（40歳以上の従業員対象）	27.9%	27.8%	29.7%		30%以上
適正体重維持者率（40歳以上の従業員対象）	65.8%	64.1%	62.2%		70%以上
生活習慣病有所見者率（特定保健指導対象者率）	0.0%	2.1%	測定中		40%以下
血圧リスク者率	0.0%	0.2%	1.0%		0.5%以下
高血圧治療継続率	84.4%	75.0%	60.8%		80%以上
平均年次有給休暇取得率	88.5%	73.5%	93.7%		95%以上
平均月間所定外労働時間	17時間	13時間	17時間		20時間以下
平均勤続年数	4.8年	4.4年	5.1年		6年以上
労働災害件数（労働基準監督署への報告件数）	42件	60件	59件		0件

サプライチェーンマネジメント

○基本的な考え方（森ビルグループ サステナブル調達ガイドライン）

森ビルグループは「都市を創り、都市を育む」の理念のもと、ビジネスパートナーを含む様々なステークホルダーの皆様とともに推進する都市づくりを通じて、住む人、働く人、訪れる人が心身ともに健康でいきいきと過ごすことができる、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいりました。昨今、世界的に人権問題や環境問題などの社会的課題に直面しているなか、当社グループが事業活動を継続・拡大し、持続可能な社会の実現に向けてさらなる貢献をしていくためには、都市づくりにおいて開発から運営に至るまで協働関係にある多くのサプライヤーを含めた、サプライチェーン全体での取り組みがより重要になると考え「森ビルグループ サステナブル調達ガイドライン」を策定しています。

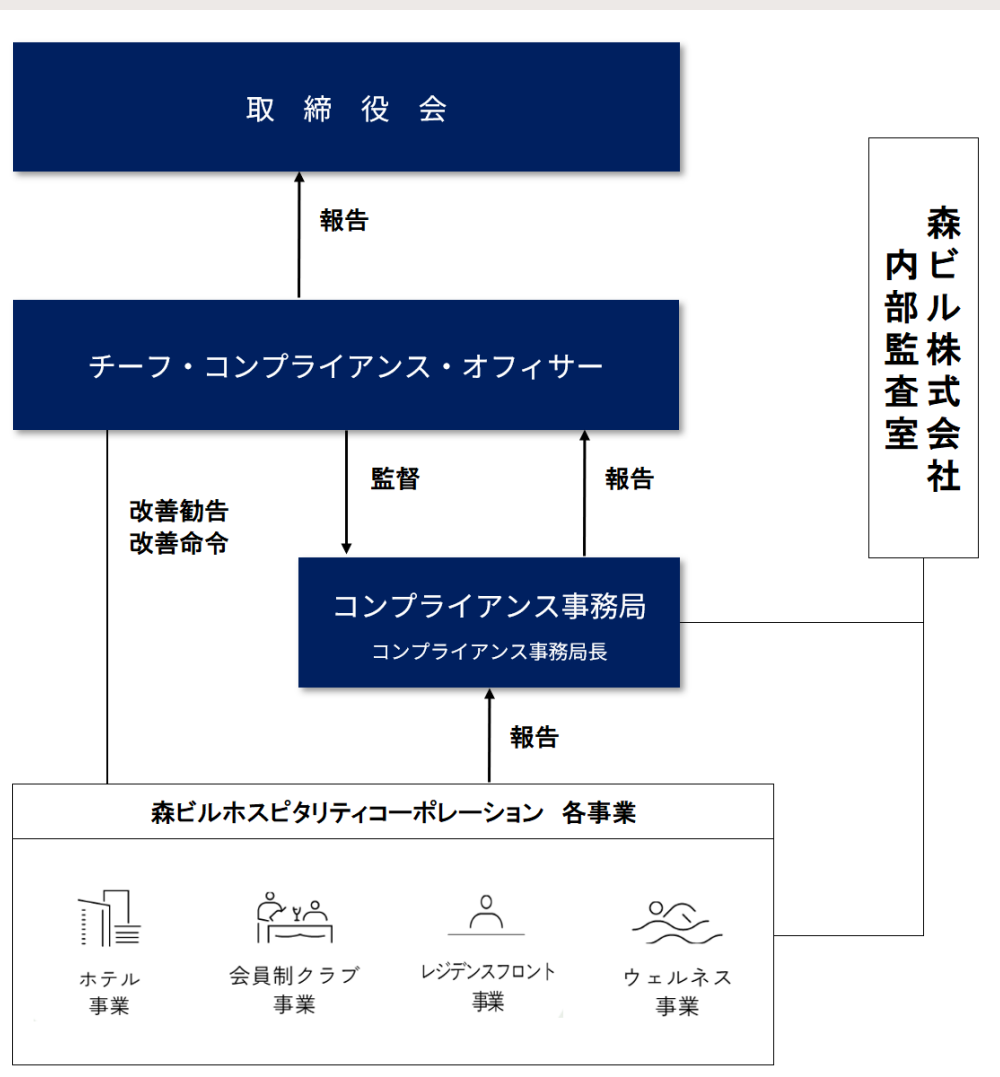
○基本的な考え方（森ビルグループ サステナブル調達ガイドライン）

当社は、内閣府などが開催する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」において策定された「パートナーシップ構築宣言」に参画しています。

「パートナーシップ構築宣言」はサプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列などを超えた新たな連携や、新事業者と下請事業者との望ましい取引慣行の遵守を宣言するものです。



ガバナンスの取り組み | コンプライアンス体制



森ビルグループは、経営の透明性の確保に努めるとともに、健全で効率的なグループ経営のためのマネジメントシステムの強化を推進しています。なかでもコーポレート・ガバナンスを最も重要なシステムの一つとして捉え、当社グループに最も適した仕組みづくりを絶えず追求しています。

当社では、コンプライアンス基本方針において、コンプライアンス推進のための基本事項を定めるとともに、その基本方針に沿ってコンプライアンス規程、コンプライアンス行動規範、コンプライアンス行動規範ガイドラインなどを定めています。

ガバナンスの取り組み | 人権方針

「森ビルグループ人権方針」は、都市づくりを実現していくために欠かすことのできない人権尊重に対する取り組みを明確にするものとして策定しています。

森ビルグループは、すべての人が享受すべき基本的権利について規定した「国際人権章典」（世界人権宣言および国際人権規約）、労働における基本的権利（結社の自由および団体交渉権の承認、強制労働の禁止、児童労働の実効的な廃止、雇用および職業における差別の禁止、安全で健康的な労働環境）を規定した国際労働機関（ILO）の「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」、子どもの権利を尊重し推進するための企業の行動・方策を提示した「子どもの権利とビジネス原則」などの人権に関する国際規範を支持、尊重します。また、本方針は国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づいて策定しております。森ビルグループは、事業活動を行うそれぞれの国や地域で適用される法令を遵守します。なお、国際的に認められた人権と各国や地域の法令の間に矛盾がある場合、国際的な人権の原則を最大限尊重するための方法を追求していきます。

日本ホテル協会「社会的貢献会長表彰」優秀賞

一般社団法人日本ホテル協会

JAPAN HOTEL ASSOCIATION
一般社団法人 日本ホテル協会



一般社団法人
日本ホテル協会

2026年3月 日本ホテル協会表彰委員会において、取り組みの「新規性・先進性」「効果・成果」「継続性・持続性」「展開性・発展性」「社会的評価」の5つの観点から、ホテルの規模と取り組みの種類に区分して審査を実施。その結果、当社は優秀賞を受賞。



わたしたちの
ホスピタリティは、
ひとを想う、
ひとから生まれる。